

▶ 第33回目となる今回は、大月短期大学 経済科 1年 石原舞さんが、株式会社トミオカテニス 代表取締役社長 富岡信也氏 を取材しました。



学生

大月短期大学  
経済科

1年 石原 舞 さん

## テニスの 山梨ブランドを目指す

株式会社トミオカテニス  
代表取締役社長

富岡 信也 氏

経営者



▶ **学生** 会社設立の経緯を教えてください。

**経営者**  
私は高校時代から硬式テニスを始め、高校を卒業する時には、「いつかテニスを主体に山梨県内で起業するぞ」と決めていました。大学へ行ってもその気持ちは変わらず、大学時代は選手をしながら指導法やショップビジネス等の勉強も始めました。

創業する前はコーチとして活動し、県内のいくつかのテニスクラブの創業もお手伝いしました。そして、1980年4月にテニススクールとプロショップの運営を行う「トミオカプロスタッフ&テニスショップ」を創業しました。5年後に、株式会社トミオカテニスとして法人化し、現在に至っています。

▶ **学生** 御社が求める人材を教えてください。

**経営者**  
まずはテニスを理解できる人が望ましいと思っています。弊社は、テニスとソフトテニスとパドミントンの3つのスポーツを柱としていますので、それらに多少でも理解・経験があり、スポーツの素晴らしさが分かる人を望んでいます。

▶ **学生** 学生時代に取り組んでおいた方が良いと思うことを教えてください。

**経営者**  
学生時代は社会に出る準備をする大切な時間である

と私は思っています。目標を早く決めることがとても大切なことだと思います。目標を早く決めれば修正も早くでき、目標を早く作ることで何をするれば良いのかも自然わかってきますので、その目標に向かって学生時代に様々な経験を積み勉強することが大切だと思います。

▶ **学生** 御社の将来展望及び今後の課題について教えてください。

**経営者**  
弊社の目指すところは、“テニスの山梨ブランド”を作ることです。「山梨はテニスをする環境が日本で一番整っているところだね」と幅広い人たちに言われることを目指して活動を続けています。

具体的には、現在運営しているクラブとスクールのテニス普及事業に加えて、ショップが三位一体となったテニスの総合施設として運営を行い、お客様により快適な

環境でテニスをしていただくことです。また、提携事業として取り組んでいる山梨学院大学のテニス強化事業で、山梨学院大学がテニス競技で日本一になることも目指しています。そこで結果を出し、全国から「日本で一番テニスをする環境が整っている山梨」のことを知ってもらい、山梨へ集まってきた学生をさらに育成することが最大の価値だと思っています。

「山梨へ来れば最高の環境で練習ができて、自分たちがまだ大学生になっても進歩できる」ということを実証できれば、山梨学院大学の存在や山梨のテニス環境も必ず評価されると思っています。

また、テニスクラブのジュニアで活躍している14～16歳の子供たちが我々の光であり希望であると思っていますので、2020年のオリンピックに向けて子供たちがより強く成長していけるようテニス環境の土台作りをしっかりやっていきたいと考えています。

### 取材を終えて…

富岡社長は、明るく分かりやすく丁寧に質問に答えてくださいました。会社を目指すところとして、山梨の中で山梨ブランドを作っていくという話を聞き、私も将来、スポーツを通して山梨県内で様々な活動をしていきたいという考えを持っているので、共感できる部分がたくさんあり、会社の魅力がますます知ることができました。

私は、高校生の時からトミオカテニスへの就職を視野に入れ、目標としているので、今回このように社長から様々なお話を聞けたことはとても貴重なことであり、とても嬉しいと思いました。社長のおっしゃった通り、これからの学生生活を、夢と目標をもって過ごしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

